

田原市の玄関口となる 新しい三河田原駅の完成予想図が発表

New Station Building

田原駅前通り線の道路改良工事に伴い、三河田原駅が移設されることになりました。今回は、駅舎の移設と新しい駅舎の概要についてお知らせします。

田原駅前通り線の道路改良工事に伴い、三河田原駅が移設されることになりました。今回は、駅舎の移設と新しい駅舎の概要についてお知らせします。

使いやすく安全な駅を目指して

三河田原駅は、豊橋鉄道渥美線の起終着駅であるとともに、市内全域へ広がる路線バスなどへの乗り継ぎ



●新しい三河田原駅の完成イメージ

◆新駅舎の概要

扇形のデザインは、世界的な建築家として知られる安藤忠雄氏が設計したものです。環境に配慮し、屋上には太陽光発電装置が設置される予定です。駅舎の半分は、市の多目的スペースとして利用し、観光情報を発信する場などを設け、観光客らの利便性を高めます。

- 主要構造：鉄骨造
- 階数：2階
- 建築面積：約391㎡
- 延床面積：約446㎡（1階面積：約259㎡、2階面積：約187㎡）
- 市施設：多目的スペース（1階：約110㎡、2階：約74㎡）
- 駅施設：駅務室、改札、仮泊室など（1階：約149㎡、2階：約113㎡）

など、田原市の玄関口となる重要な交通結節点です。これまでは、周辺の道路が狭く、交通が錯綜した状態でしたが、今回の移設で、駅舎が現在の位置から線路終端部へ移され、利用する方の利便性と安全性の向上を確保するように計画されました。

また、新しい三河田原駅の設計は、市民アンケート（平成19年）などをもとに豊橋鉄道株が安藤忠雄建築研究所に依頼し、田原市の玄関口にふさわしく、環境や周辺景観にも配慮された駅舎となります。

今後は、平成25年の供用開始に向け、駅舎とその周辺の整備を進めていきます。なお、進捗状況については、広報たはらなどでお知らせします。

●今後の事業

- 田原駅前通り線整備事業
平成25年11月 全線供用開始予定
- 駅前広場整備事業
平成25年11月 一部供用開始予定
- 田原駅移転整備事業
平成25年11月 供用開始予定



●三河田原駅周辺の完成予想図

◆三河田原駅周辺整備事業とは
田原市中心市街地を南北に結ぶ街路整備と、それにかかわる三河田原駅舎など鉄道施設の移転や、その周辺の整備を行う事業です。市が行う幹線道路・駅前広場などの整備、豊橋鉄道株が行う線路・駅舎の移設などがあり、隣接する市街地再開発事業と連携し、中心市街地の活性化を図ります。

街づくり推進課 ☎ 23局3524